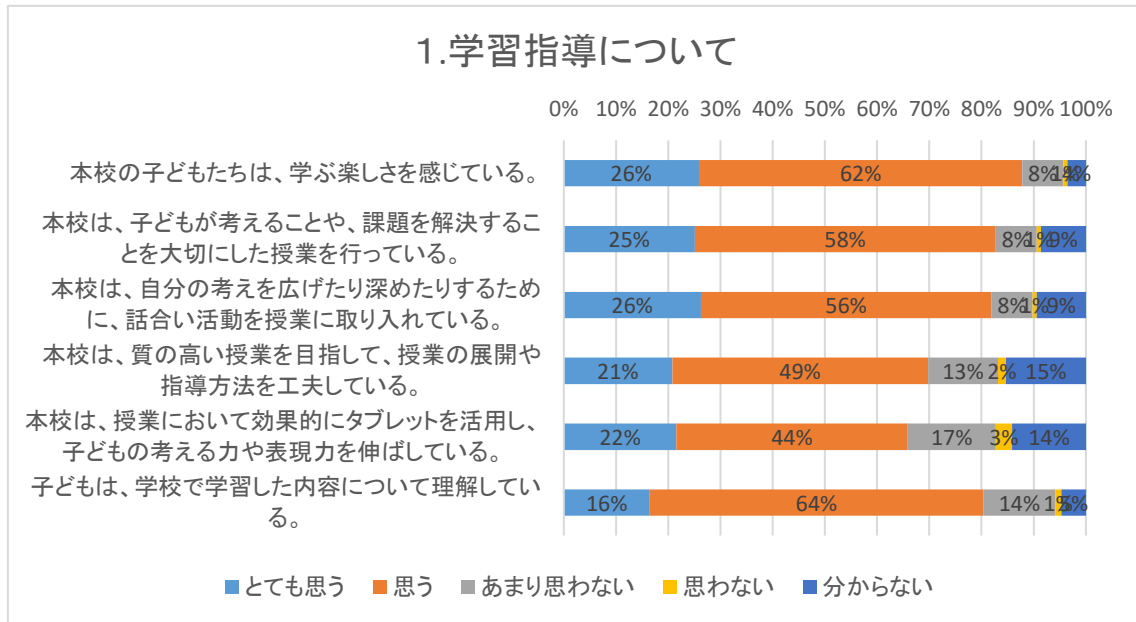


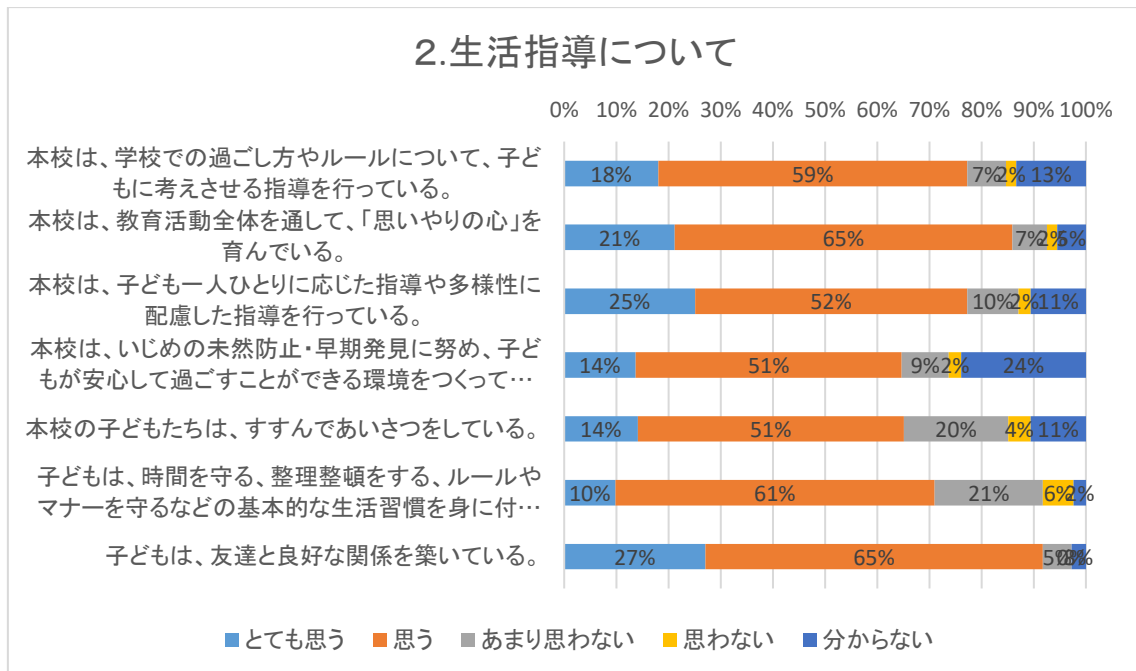
令和7年度 次年度に向けた改善方策

(令和7年度学校関係者評価アンケートより)

世田谷区立若林小学校

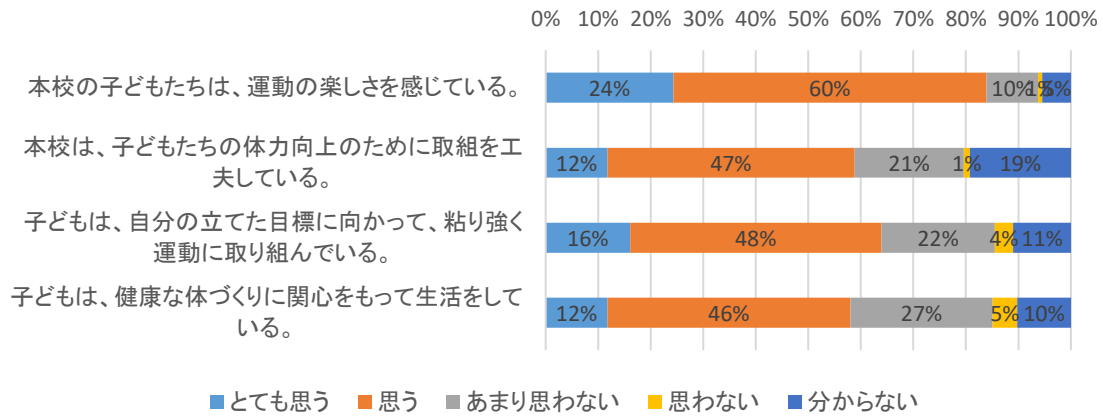


タブレット活用について、肯定的評価数値が他項目と比べて、10.0%ほど低くなっている。教科の目的に応じて効果的にタブレットを活用する頻度を増やし、児童自身が探究的な学びの中で、よりよく活用できるように指導していく。



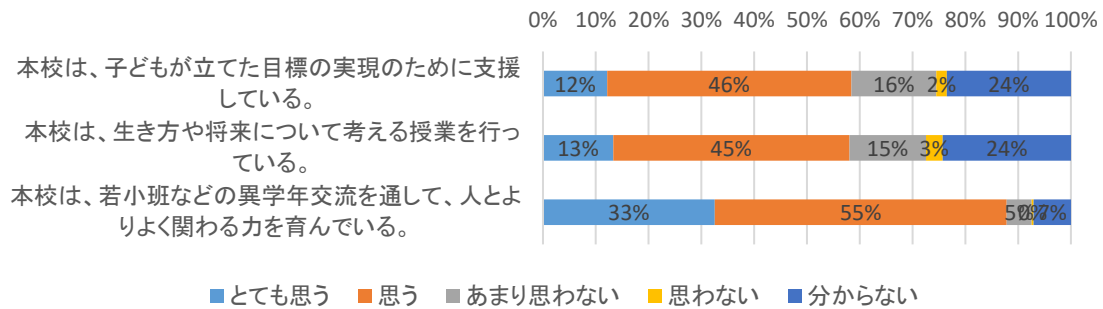
子ども同士の関係性は良好であるという評価の肯定的回答は、92.0%ととても高い数値となった。一方で、子どもが安心して過ごせる環境づくりやあいさつの実施は、60.0%台となり課題が見られた。児童からの相談を受ける体制や環境をより一層整えるとともに、あいさつの大切さを全学年で指導し、自ら積極的にあいさつに取り組むことをめざす。

3.体力向上・健康な体づくりについて



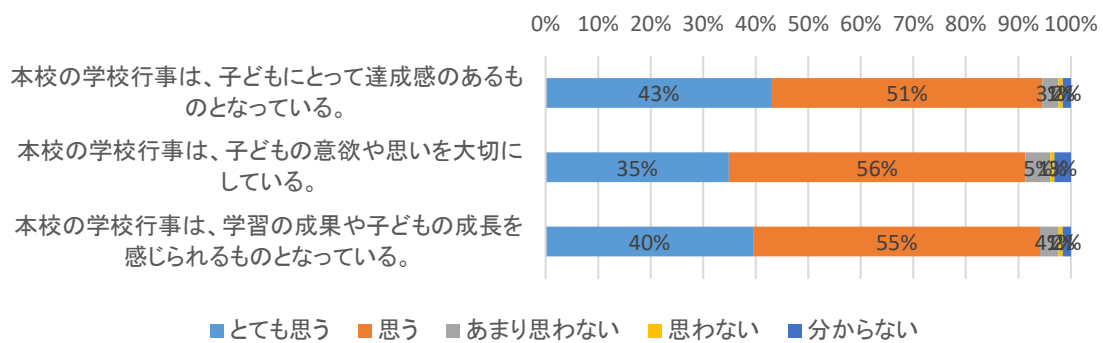
体力向上の取組や健康な体づくりへの関心について、肯定的回答が 50.0% 台であった。本校独自の体力向上の取組である「若小チャレンジ」をさらに充実させるとともに、健康への関心を高めるために、保健指導の充実も一層図る。

4. キャリア教育について



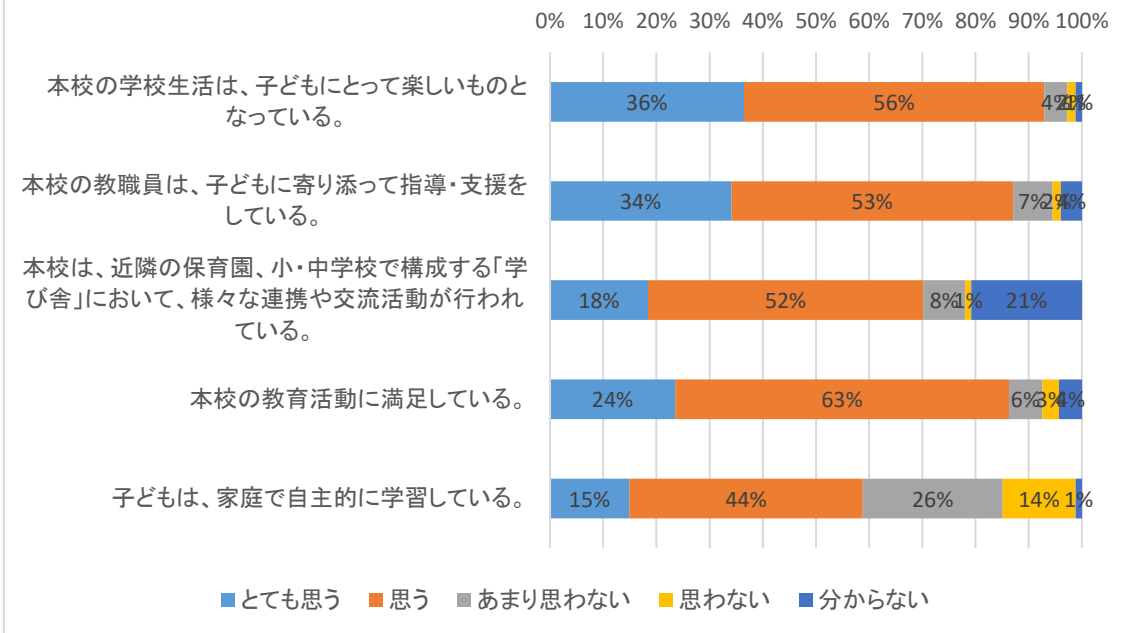
異年齢交流を通じた人と関わる力の育成については、高い数値での評価が見られた。(88.0%) 一方で、キャリア教育に関する授業について、保護者への周知や理解に課題が見られた。キャリア教育に関する情報をさらに保護者に発信し、児童の変容を実感してもらえるように工夫する。

5. 学校行事について



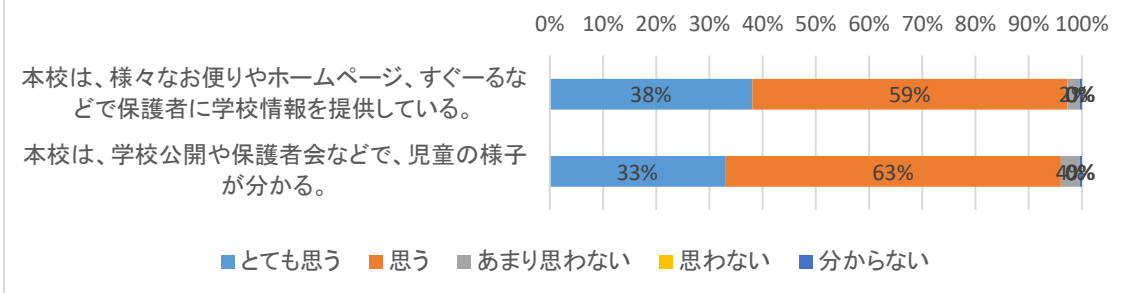
全ての評価項目において、高い数値が見られた。今後も学校行事の充実を図り、児童の様々な力と態度を育む。

6. 全般について



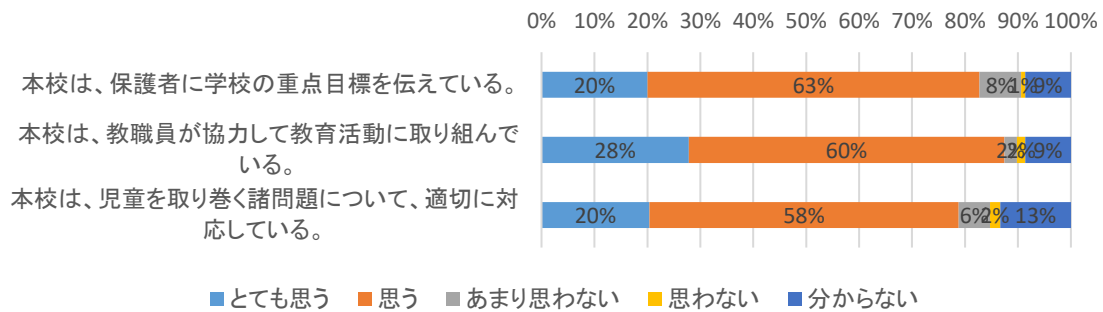
家庭学習への取組に関する評価が、肯定的回答 59.0%であった。授業中の学習に対する主体性とも関係しているの
で、学校での学習への取組方について改めて指導するとともに、学ぶことの楽しさや喜びを感じ取らせ、自ら学習に取
り組む姿勢を培っていく。

7. 学校からの情報提供について



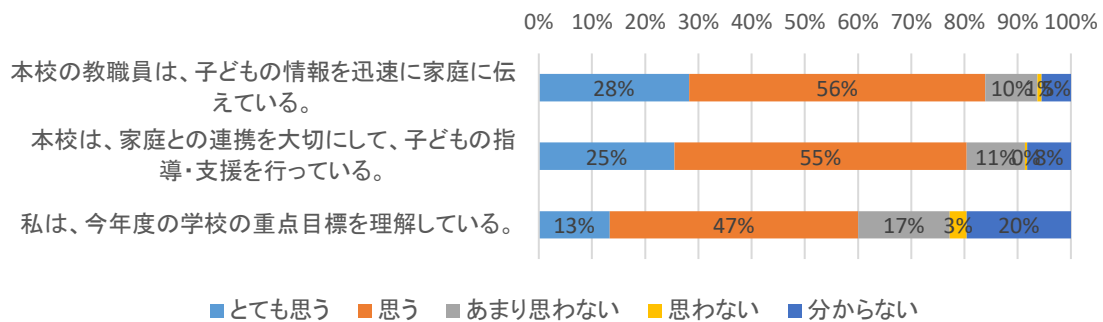
評価項目上記2つについて、いずれも肯定的回答が 95.0%以上となった。今後も、学校情報をタイムリーに発信して
いくことに努める。

8. 学校運営について



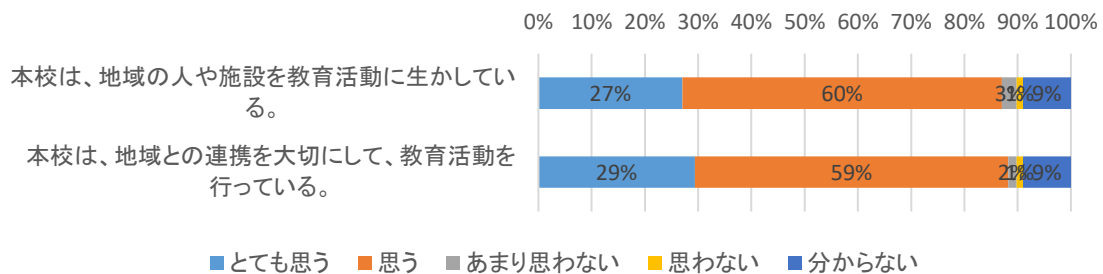
「児童取り巻く諸問題の対応」について、肯定的回答が78.0%であった。多岐にわたる諸問題について今後も適切に対応していくとともに、対応の方法や事例等も学校運営協議会やPTA運営委員会等で報告していく。

9. 家庭と学校との連携について



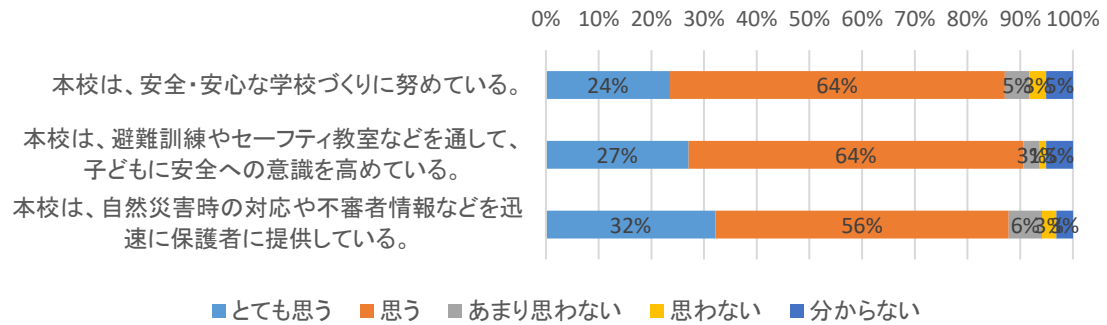
学校の重点目標について、肯定的回答が60.0%に留まった。4月の保護者全体会に加え、学校だより等においても定期的に学校の重点目標について触れ、保護者への周知や理解の促進を図る。

10. 地域との連携について



地域連携に関する項目については、いずれも肯定的回答が80.0%以上となった。今後も、地域の教育資源を積極的に学校教育に取り入れていくとともに、地域との連携を大切にした学校運営を心掛けていく。

11. 学校の安全性について



安全な学校づくりについて、全ての評価項目について、肯定的回答が80.0%以上となった。今後もハード・ソフトの両面において安全性を担保し、児童が安心して過ごせる学び舎を維持し続けていく。